



CAMPUS

Vol. 135

令和3年3月発行

2021 SPRING
奈良工業高等専門学校

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22
奈良工業高等専門学校 広報センター
TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS担当)
ホームページ <https://www.nara-k.ac.jp>
メールアドレス gakusei@jimmu.nara-k.ac.jp

2

0

2

1

全国高専ラグビーフットボール大会 3 連覇！



オンライン高専祭！



卒業・修了おめでとう！



C contents

巻頭言	02
過去を未来へとつなぐこと	03
しなやかエンジニア教育プログラム	
大学編入学等進学・就職内定状況	04
卒業・専攻科修了おめでとう！	05

オンラインによる高専祭の開催について	08
クラブ・同好会紹介(少林寺拳法・茶道)	
学生会から「新役員紹介」	09
学生表彰(優秀賞・皆勤賞・特別賞など)	
近畿地区高専英語プレゼンテーション	10
コンテスト参加報告など	
カウンセラー・ソーシャルワーカーだより	11

I information

- ☆全国高専ラグビーフットボール大会 3連覇！
- ☆卒業記念品の寄贈
- ☆行事予定(4月～9月)



後藤 景子

校長

奈良高専校長に就任以来、5年が経過しようとしています。CAMPUS巻頭言を執筆するのは3回目です。1回目は異分野で教育研究に従事してきた私のことを知ってもらおうと、大学教員時代の活動を紹介した「私が過ごした日々」、ものづくりのこれまでとこれからに想うことを記載した「日本のものづくり」、および能動的な学びの大切さを記載した「InputからOutputへ」の3つに触れました。2回目は「奈良高専の未来を描く」と題して、奈良高専が目指すエンジニア像、ONLY ONEについて想いを語りました。そして3回目は……。いろいろ考えましたが、頭をよぎるのは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大とその影響ばかりです。戦争体験がない私にとって還暦を過ぎてからの人類の試練であり、この試練に若くして遭遇した学生の皆さんには、貴重な体験を将来につなげてほしいと切に願っております。

今から1年余り前でした。2019年末に中国湖北省武漢で原因不明の肺炎が発生し、患者の検体から新種のコロナウィルスが検出されました。最初の集団感染は海鮮卸売市場で発生したとされ、原因として野生動物の売買が報道されていますが、その起源はいまだに解明されておりません。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）では、世界中で感染者数が1億人を突破し、200万人を超える死者が出ているにも関わらず、起源解明がなされていない現実に複雑な想いです。

日本国内では2020年1月中旬に最初の感染者が確認され、本校では2月25日に第1回の危機管理対策本部会議を開催し、現時点で30回を超えております。地域の感染状況を踏まえながら、授業、研究室活動、課外活動、各種行事、入試など学校活動の実施方法（中止や延期も含めて）、感染防止対策、入構禁止措置、学内外への通知内容などを繰り返し協議し発信してきました。長年の間に培われた「決めごと」は殆ど使えない状況となり、手探り状態での対応です。最優先したことは「学びを止めない」ことで

す。高専は高等学校とは異なり、通学域が広域で、学寮で集団生活をしている学生さんも多数おり、感染防止対策が困難という状況があります。感染のリスクのない学びとして遠隔授業の導入は必須となりましたが、実験実習科目の実施については困難が予測されました。

5月11日からMicrosoft 365 Teamsを使用した遠隔授業（リアルタイムまたはオンデマンド）を開始し、7月6日から実験実習を対面授業とし、7月27日になりやっと全ての授業が対面授業となりました。情報機器の確保やネット環境の整備につきまして、ご家庭のご協力に感謝しております。遠隔授業で学校に登校できない学生の皆さんや、対応に追われた教職員の心身のストレスは相当なものと思っております。ヒトにとって対面によるコミュニケーションがいかに大切かということを思い知らされました。当面は、学生たちに寄り添い見守っていく必要があります。

感染に対する予防意識や対応が功を奏し、後期授業も対面授業でスタートすることができ、何とか順調に進めてきました。ところが、昨年11月後半から感染が再拡大し、いよいよコロナウィルスが水際まで来ていると感じるようになりました。年末から年始にかけて、学内からも濃厚接触者やPCR検査陽性者が発生し、推薦入試を控えて遠隔授業への切り替えを余儀なくされました。1月に緊急事態宣言が出されたことも重なり、しばらくは対面授業と遠隔授業を組み合わせ、感染拡大防止に留意しながら学修の機会を確保としていくこととなります。2年目の対応に入り、学校活動全般に関して、1年目の「決めごと」を再度運用しなければならないという事態になりそうです。

感染症の流行は歴史的に繰り返されてきたことです。これに打ち勝つにはコミュニケーションにより知恵を育み、協働することが必須で、現在では科学技術の力があります。ワクチンの開発・接種が既に始まっており、アフターコロナの時代はいつかきっと訪れると思います。コロナの効用で、情報機器の確保やネットワーク環境の整備が進み、遠隔授業や遠隔会議等の実施が容易になりました。教育の質をさらに向上させ、学校運営の効率化を図る絶好の機会です。本日（2021年2月2日）、10都道府県での緊急事態宣言の1ヶ月延長が決定されて閉塞感漂う毎日ですが、全ての学生の皆さんと教職員、ALL NARA KOSENでこの災難を乗り越えることが素晴らしい未来に繋がると信じております。

この巻頭言をお読みいただくことで、コロナ禍で学校が行ってきたことを整理して学生の皆さんにお伝えし、しばらくは継続すると思われる感染対応と必要な情報共有にご理解とご協力いただくことを願っております。そして卒業後、新産業を牽引するエンジニアとして活躍されているときに再び感染症の流行が起こったら、この巻頭言を思い出し知恵と工夫で乗り越えていただければ幸いです。





SARS-CoV-2によるCOVID-19が欧州を襲い、各国に医療崩壊が起こっていた昨年の春、伊国のある哲学者が「生き延びること以外に価値を持たない社会になってしまってもよいのか」と問いかけました。国民の命を守るという目的であれ、国家が権力を強化し、私権を制限することには十分警戒すべきだ、というその主張は大きな反響を呼びました。

問題にしたのは、大きく二つ。死者の権利と移動の自由です。生きている人の権利だけでなく、亡くなった人にも権利はないのか。人をどのように弔うかは文化であり、法であり、倫理である。私たちの社会は、亡くなった人たちが私たちにつないできてくれた歴史によって支えられているのではない

か。また、自由の根底にあるのは移動の自由であり、それをみだりに禁止すべきではないのでは、という問いです。実際、罰金と死刑の間にある刑罰は、拘留、禁固、懲役といった移動の禁止です。

生きている人間にとって生き延びることは何よりも大切なことですが、おそらくそれだけでは人は生きていけない。身近な問題でいえば、たとえば遠隔授業（全体の安全性）と対面授業（個人の自由とそれが抱えるリスク）をどうバランスするか。こうした問題を改めて考えてみると、私たちの文化や歴史が、私たちの身体性を基盤とした直接的コミュニケーションによって培われ、受け継がれてきたことは、軽視できない事実だと思います。

個人は社会から切り離されて存在することはできません。そして、個人も社会も急には変わらない。世界中がCOVID-19で苦しんでいるこういうときこそ、過去から受け継いだものをうまく生かすことが大切な気がします。皆さんが、自然科学だけでなく人文科学や社会科学をも学ぶ意味はそのあたりにあるのかも知れません。「つなぐ」ことを意識してみてください。過去から受け取り、未来につなぐ。なるべく悪くない環境として。これはまた、世代間における倫理とも言えそうです。



しなやかエンジニア教育プログラム ～工学と異分野からの学びの融合～

女性エンジニア養成推進センター 顯谷 智也子

「しなやかエンジニア教育プログラム」は、2019年度より奈良高専の特徴的なプログラムとして開始され、2021年度は学年・学科を超えて本科1年～3年総勢60名近くの学生が受講予定です。

本教育プログラムでは、工学とは異なる分野の学びを通じて「感性」や「表現力」を養い、工学教育で培われる理論に基づく実践力と融合させることで、人々の生活に新たな価値を与えるような「コトづくり」ができるエンジニアリーダーの育成を目指します。授業は、分野ごとに専門の大学の先生や企業の方々を講師としてお招きし、心理学やデザイン論などの講義、またプロダクトデザインや藍染などのワークショップを実施しています。

また、本科に加え、2020年度からは専攻科でもリーダーシップ育成の2科目の授業を開始し、初年度は公開講座として近隣企業様からも多く参加を頂きました。

学生は、本教育プログラムを通じ、社会・生活と技術をつなぎ、新たな価値を創造するための「感性」と新たな価値を具体化しそれをカタチとして表す「表現力」、そしてダイバーシティな環境下における「リーダーシップ」を養うことができます。

以下、本教育プログラムを受講した本科生の声です。



情報工学科2年 杉山 咲

私は、このプログラムを通して、物に対する見方の幅がとても広がりました。

以前、講義の中で、世の中の製品が売り出されるまでのお話を聞きました。製品の1つ1つに、多くの工夫やアイデアが込められているそうです。そのことを知ってから、身の回りにある物の形状や、素材の意味を考えるようになりました。そして、小さな部品や少しの形の違いによる利便性は、多くの苦労やアイデアの結晶であることにも気付きました。これらの気付きを活かして、また新しいものを作れるようになりたいです。

課題への取り組みを通し、しなかったことへの後悔より、失敗してもやって後悔の方が大事だと気づきました。また、通常では出会えない方々から「異分野の知識」を得ることができました。例えば、「行動」ではなく「考動」という物事の捉え方、たった1枚の紙でもアレンジ次第で皆を笑顔に変えられるという新たな発見がありました。こうした気づきは、新たな価値を創造する感性とそれを形にする表現力を兼ね備えたエンジニアになる為に活かされていくと思います。

今までは自己発信することが苦手で周りに流されてきました。しかし、しなやかでの活動を通して、自分の考えを主張したり、積極的に行動できるようになり、自信や成長に繋がりました。また、以前は「誰かがやってくれるだろう」と他人任せだったことも、「自分がやる」と責任感を持って取り組むようになりました。これからも、どんなことにも興味や関心を持ち、周囲にしっかり目を向けられるエンジニアリーダーを目指したいです。



卒業・修了予定者 進路状況

令和2年度 第5学年卒業予定者 大学編入学等進学状況

(令和3年1月31日現在)

大学名	学部名	人数
東京大学	工学部	1
東京工業大学	工学院	1
東京工業大学	生命理工学院	2
京都大学	工学部	1
大阪大学	工学部	4
神戸大学	海事科学部	1
筑波大学	理工学群	1
横浜国立大学	理工学部	1
福井大学	工学部	1
信州大学	工学部	2
三重大学	工学部	3
滋賀大学	経済学部	1
京都工芸繊維大学	工芸科学部	4
奈良女子大学	理学部	1
岡山大学	工学部	3
広島大学	工学部	1
香川大学	創造工学部	1
愛媛大学	工学部	1
九州工業大学	情報工学部	1
長岡技術科学大学	工学部	8
豊橋技術科学大学	工学部	4
大阪府立大学	工学域	9
大阪市立大学	理学部	1
滋賀県立大学	工学部	1
同志社大学	理工学部	1
同志社大学	文化情報学部	1
立命館大学	理工学部	2
関西学院大学	理工学部	1
奈良工業高等専門学校	専攻科	39
舞鶴工業高等専門学校	専攻科	1
津山工業高等専門学校	専攻科	1
大阪府立大学工業高等専門学校	専攻科	1
合計		101

令和2年度 卒業予定者 就職内定状況

(令和3年1月31日現在)

企業名	人数	企業名	人数
旭化成	1	スマイルブーム	1
朝日ビルディング	1	第一工業製薬	1
アドバンスコープ	1	第一三共プロファーマ	1
アヒル	1	ダイキン工業	3
イーベース	2	椿本チエイン	1
伊藤金属製作所	1	鶴賀電機	1
ウェルアソシエイツ	1	ティ・アイ・ディ	1
宇部興産	1	東海旅客鉄道	1
エヌティーティーデータSBC	2	ナリス化粧品	1
エヌティーティーワールドエンジニアリングマリン	1	西日本高速道路	1
大阪ガス	1	日本オーチス・エレベータ	1
大阪シーリング印刷	1	日本電気計器検定所	1
オムロン	1	日本ペイント・オートモーティブコーティングス	1
花王	2	日本放送協会	1
関西グリコ	1	任天堂	2
キャノンメディカルシステムズ	1	パナソニックアプライアンス社	1
京セラコミュニケーションシステム	1	パナソニックインダストリアルソリューションズ社	1
近畿日本鉄道	1	ビーネックスソリューションズ	1
クオリカプス	1	ファナック	1
クボタ	2	フジシール	1
ケイミュー	1	藤原電子工業	1
ケーディーディーアイエンジニアリング	1	フリー	1
月桂冠	1	ホソカワミクロン	1
国立印刷局	1	本田技研工業	1
コニカミノルタジャパン	1	マツダ	1
コベルコ建機日本	1	三菱電機	1
小松製鉄所	1	メンバーズ	2
佐藤薬品工業	1	ヤクルト本社	1
三恵工業	1	ユーセンネクスト	1
サントリーホールディングス	4	UHA味覚糖	1
三和澱粉工業	1	理研ビタミン	1
ジャルエンジニアリング	1	ローム	1
合計		合計	75

令和2年度 専攻科修了予定者 大学院合格・進学予定状況

(令和3年1月31日現在)

大学院名	研究科名	人数
京都大学大学院	工学研究科	1
京都大学大学院	人間・環境学研究科	1
東京工業大学大学院	電気電子系	2
大阪大学大学院	工学研究科	7
神戸大学大学院	科学技術イノベーション研究科	1
神戸大学大学院	人間発達環境学研究科	1
同志社大学大学院	理工学研究科	3
奈良先端科学技術大学院大学	先端科学技術研究科	22
合計		38

令和2年度 専攻科修了予定者 就職内定状況

(令和3年1月31日現在)

会社名	人数
ソフトバンク株式会社	1
株式会社トクピ製作所	1
近畿日本鉄道株式会社	1
寺崎電気産業株式会社	1
パナソニック株式会社 インダストリアルソリューションズ社	1
株式会社AHIRU	1
アステック株式会社	1
株式会社アイティフォー	1
株式会社はてな	1
合計	9



卒業おめでとう!



機械工学科5年 福森 厚也

僕たちが奈良高専に入学してから、5年が経ちました。楽しいことばかりではありませんでしたが、クラスメイトで協力し、卒業を迎えることができました。

これまでを思い返すと、僕たちのクラスは非常に協力的でした。クラスでのイベントは、工場見学、ハイキング、スポーツ大会がありました。スポーツ大会では全員が積極的に取り組み、良い成績を残しました。また課題においても



マスクとディスタンスの1年間

4年生のころ



話し合い、乗り越えてきました。5年生の卒業研究では、コロナウイルスで苦しい思いをしました。全員が「卒業できるかな」と心配しました。イベント事もなくなり、良い思い出は全くありません。でも、それぞれが鼓舞しあい、今を迎えることができます。本当にこのクラスメイトと出会えて良かったなと実感しました。来年度にはそれぞれの道を進みます。この経験を糧に、頑張りたいと思います。

最後にこれまで僕たちを育ててくださった先生方ありがとうございました。課題は正直苦しかったです。それでも今の僕たち、クラスの仲の良さがあるのは先生方のおかげだと思います。奈良高専という学校でこのような先生方、クラスメイトに出会えて、5年間過ごせて本当に良かったと思います。

機械工学科5年学級担任 平 俊男

高専生活最後の年は、誰もが予想しえなかったような展開になりました。遠隔スタートとなった授業もちろん、就職活動や進学ではかなり戸惑いがあったことと思います。私が学級担任であったこの一年間、何があったらと思う返しても卒業旅行はなく(これは新型コロナウイルスとは関係ありませんが)、スポーツ大会もなく、ひょっとすると私が担任であった事すら忘れられているかもしれません。それはそれとして、何もなかったかのようなこの一年、案外懐かしく思える頃がくるのでしょうか。皆さんお元気で。卒業おめでとう!



電気工学科5年 石井 理紗

思い返せば長いようで短い5年間でした。地元を離れ、新しい毎日に胸を弾ませた入学式の日を今でも覚えています。一番最初に驚いたのは思っていたより女子の人数が多かったことです。クラスに1人か3人程度だろうと思っていました。しかしふたを開けてみれば8人もいることに驚きました。今では女子全員で食事をしたり、誕生日の人に共同でプレゼントを渡したりするくらい仲良くなれました。



5Eクラスメイトたち



卒業研究発表会にて

寮では、入寮しなければ仲良くなれなかったし、きっと話すことも知り合うこともなかったであろう他学科の友人達や先輩後輩に恵まれました。寮の先輩に誘われて入った合気道部で参加した研鑽会や演武会は学外の方と一緒に稽古する良い機会になりました。

2年生からは高専祭実行委員会に入り、高専祭を自分たちの手で作り上げていく喜びや楽しさを学びました。4年生のときには高専祭実行委員会の、デコレ部部長という仕事もしました。

3年生のときに友人達と立ち上げた手芸同好会には、男女合わせて10人以上の後輩が入ってくれました。本当にたくさんの方に支えられた5年間でした。

最後に先生方をはじめとして先輩、友人達、お世話になった皆様そして両親に感謝を。

電気工学科5年学級担任 大谷 真弘

ご卒業おめでとうございます。コロナ禍のもと、授業や研究、就職・進学活動などに取り組むには不安や困難もあったことでしょう。それらを乗り越えて皆さんが無事に卒業を迎えられたことをうれしく思います。社会の変化が加速していく中、皆さんの豊かな創造力や前向きな行動力がより良い未来への原動力となるはずで。本校で学んだ知識や経験を基礎とし、自ら学び成長し続けるとともに、人とのつながりを大切に育ててください。皆さんの益々のご活躍を期待しています。





電子制御工学科5年 中川 恭佑

高専に入学前から不安だったのは高専という環境が自分に合っているのか、ということでした。しかし振り返るとあっという間で、それは高専生活に実りがあり、充実していたからだと思います。

そんな5年間を振り返って一番はなんといっても実験レポート祭り。後輩も苦戦しているところかと思いますが、実際にその原理を目の当たりにし、自分なりに考察や課題を見出すというのは大事な経験で、同世代と比べて自信を持てる場所だと思います。



ラスト体育



4年生
最後の水泳

また一緒に戦ったクラスメイトにも感謝です。私のクラスは積極的に意見を述べる場面が少なく、よく先生方には「静かすぎる」と心配されていましたが、決して仲が悪いわけではなく、課題解決の実験ではやっぱり高専生、ロボット製作について、時には意見がぶつかりながらもそれぞれのチームが団結していました。高専祭の学科展でも遅くまで展示物を製作、調整を繰り返し、科展チャンピオンになれたのは良い思い出です。

最終学年になると卒業研究という個人作業が増え、今年新型コロナウイルスの影響で友達と顔を合わせる時間が希少となりました。15歳で出会ってからクラス替えもなく、そんなクラスメイトの存在は大きく、当たり前ものになっていたのだと実感しました。

これからも高専で経験したことに自信をもって、いろいろな課題を解決していきたいと思っています。

電子制御工学科5年学級担任 矢野 順彦

ご卒業おめでとうございます。私が前回の5年担任をしたのは11年前で、当時はリーマンショック直後でした。今回も新型コロナウイルスの影響で、大きく社会が変わり始める時期と重なってしまいました。皆さんは大変な時期に高専を卒業して、これから新しい環境に身をおいて生活を行うこととなります。社会状況は今後も変化が激しくなっていくと思われます。高専で培ってきた専門の基礎学力や忍耐力だけでなく、創造力を発揮してこの激しい変化を乗り越えてください。皆さんなら、きっと乗り越えることができると期待しています。



情報工学科5年 松本 裕暉

1年生の時、担任の上野先生からHRで「みんな直接話そうよ」と言われた私たちは入学当初、休み時間はスマホ片手にクラスLINEで会話をするようなメンバーでした。そんな個性の強いメンバーと授業や高専のイベントを通じて仲良くなり、3・4年生の高専祭ではみんなの個性を活かした、タピオカカフェや学科展示ができました。



4年生
社会工場見学



3年生
社会工場見学

5年生になると、みんな各々の研究室に配属され、研究室内のメンバーとしか関わらなくなるのかなと思っていました。しかし、毎日どこかの研究室に集まってボードゲームや、各研究室の話をして盛り上がっていました。

そんな5年間から僕が得た最も大切だと思ったことは、目標に向かって本気で何かに取り組むことです。何かを達成しようと行動すると、壁にぶつかります。その壁を乗り越えるには諦めずに自分と向き合い続ける必要があります。自分と向き合い続けることはすごく辛いことではありますが、自分が最も大切にしていることが何なのかを見つけるいい訓練にもなります。僕はこの経験があったからこそ、自分が本当にしたいことを見つけ、仕事にすることができました。

最後になりましたが、僕たちのことを温かく見守ってくださった先生方、本当にありがとうございました。

情報工学科5年学級担任 山口 賢一

皆さん卒業おめでとうございます。遠隔授業をはじめ、例年とは全く異なる学校生活を強いられたかと思いますが、卒業の日を迎えることができました。これも、皆さんの自制と協力のおかげだと感謝しています。

入学時点で思い描いていた学生生活を過ごすことはできたでしょうか? 「色々あったけど楽しかった」と振り返ってくれてるんじゃないかと勝手に思っています。

コロナ禍という非常に難しい状況の中で、卒業に向けて努力し、自分の希望する進路を勝ち取れた経験は何事にも代えがたいものだと思います。今後益々の活躍を期待しています。





物質化学工学科5年 山中心

将来は科学に関係する学校に入学したいと思っており、高専に入学を決めたとき、中学3年時の担任の先生に「高専は変な学校だ」と言われたことを覚えています。そして入学し、大学レベルの専門の授業、広い定期テスト範囲、週1回書かなければならなかった学生実験のレポートと特殊な環境に大いに苦しめられました。

しかし、苦しいだけでなかったのが高専生活でした。入学当時不安で緊張していた僕でしたが、スポーツ大会や工場見学などを通して徐々にクラスメイトと打ち解けていきました。そんな仲間たちと勉強を教えあって定期テストやレポートを乗り越え、担任の先生方と化学科の先生方の力添えのおかげで就職の内定をもらうこともできました。また、高専で出会った方たちは良い



クリスマス会



3C時代謎の集合写真

意味で癖の強い方が多く、飽きさせることなく僕の高専生活を彩ってくれました。

もし高専に入学しようと考えている人がいたとして、どんな学校かと聞かれたら僕はきっと、「変な学校だ」と答えると思います。

そんな学校で出会ったクラスメイト、いつも楽しませてもらった部活動の先輩・後輩、どんなときにも手を差し伸べてくださった担任の先生方と化学科の先生方のおかげで、僕の5年間の学生生活は決して忘れることのない思い出となりました。本当にありがとうございました！

物質化学工学科5年学級担任 宇田 亮子

この一年は、コロナ禍を避けては通れませんでした。多分、皆さんの人生でも大きな出来事となり、後々「2020年度ってどうしていた？」と話題になるぐらいのインパクトだと思います。ロックダウンのあった海外の動物園で、維持出来ない動物達の最期をどのように迎えるかの計画がなされたと聞いた時、私は「こりゃ戦争レベルだ」と感じました。戦時下の日本の動物園でゾウが死んでしまう話、ありましたよね。

皆さんも、突然の遠隔授業やオンライン面接、受験延期などに直面しました。さあどうする？新しいPC買う？貯金は足りるか？それに使っちゃうのか？など頭を悩ませ、自分の優先順位ってなんだろうと、考える機会が多かったと思います。ピンチに直面した時、最終的に向き合なさいいけないのは、自分の想いや考えです。皆さんなら、自分との対峙に怯まない人になると信じています。エールを送ります。

専攻科 修了おめでとう！



システム創成工学専攻 機械制御システムコース2年 木田 圭祐

専攻科に進む目的は人それぞれですが、「社会人として足りないもの」を身に付けようとした自分は相当の変わり者だと自負しています。こんな私も、数えきれない方々に背中を押され、引っ張っていただいて何とか修了することができました。頭が下がる思いです。

時勢もあり、学生として未だ冷めやらぬ想いを抱えている方も多いと思います。私も含めた修了生全員が、その熱を前に進む原動力に変えご活躍されることを祈念しています。



システム創成工学専攻 電気電子システムコース 馬野 叶悟

小学校よりも長い7年間の高専生活が終わろうとしています。「理科が好き」というきっかけで高専へ入学しましたが、学年があがるにつれ実社会を支える“工学”に魅了されました。特に、各分野に精通した先生方のお話にわくわくしたのが印象的です。専攻科では研究活動を通して、ものごとに対する考え方や人との関わり方を学び、自らの視野を広げることができました。

最後に、長い高専生活でいつも笑わせくれたユーモアあふれる同級生、温かくご指導くださった先生方、支えてくれた家族に感謝しています。ありがとうございました。



システム創成工学専攻 情報システムコース2年 福本 大介

奈良高専での研究は、時には忙しく大変でしたが、先生方のご指導のもと完結することができました。また、講義や研究でプレゼンをする機会が多く、コンテストでは高専生の資料作成や発表のスキルが大学生と比べても高いことを実感しました。GECEPでは英語学習に励み、シンガポールへの短期インターンはグローバル社会に興味を持つ良いきっかけになりました。大学院でも奈良高専での経験を活かし、躍進していきたいです。



物質創成工学専攻2年 紀ノ岡 健

4年生までは実験レポートやテストに苦しめられましたが同級生と切磋琢磨しながら進級、5年生からの3年間は研究について考えながら日々を送っていると、あっという間に高専生活も終わりを迎えました。本科5年、専攻科2年の合計7年間ということで人生の三分之一を奈良の地で過ごしましたが、今となっては良い思い出です。ここで得た経験や繋がりを卒業後の生活に活かせるように頑張っていきます。長きにわたりご指導くださった先生方、ありがとうございました。

専攻科長 中村 秀美

皆さん、専攻科修了おめでとうございます。今年度はコロナ禍の中、思うような学校生活、研究活動ができなかったと思います。しかし、このような状況だからこそ変化に対応できる力が必要です。皆さんは奈良高専での教育を通して実践的技術者・研究者とし

ての基礎を十分学んできました。これから先はさらに高度な知見を吸収するとともに、知性と教養をもっと磨き、変化に柔軟に対応できる力を身に付け、自分自身を成長させる必要があります。これからは本当の意味での自学自習の新たなスタートです。皆さんの頑張りに期待しています。





オンラインによる高専祭の開催について

情報工学科4年 志賀 亮佑

本年度、本校では新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、オンライン上で高専祭を開催いたしました。テーマは『高専CUBE～色とりどりに染め上げよう～』。学生それぞれの個性を活かして、様々な色を見せる高専祭を作ろうという思いが込められています。

当日はウェブ上で各学科や部活が作成した展示の掲載、またYouTube上で軽音楽部によるライブや高専祭のメイキング映像などの企画動画を生配信しました。

準備期間には感染症対策に万全の注意を払いながら、活動の紹介や製作した作品の展示など、各団体の個性を活かして素晴らしい展示を作成していただきました。それ以外にも当日の配信やその他収録に協力して下さった放送部、ウェブサイトの作成を担当していただいた情報処理研究会、そして高専祭実行委員など数々の学生、また教職員の皆様の多大なるご協力のおかげで無事に高専祭を開催することが出来ました。



一週間展示を掲載したウェブサイトは計3000人以上、当日限定のライブ配信は300人余りの方々に閲覧して頂きました。今年度は今までと比べて私たちの生活が大きく変わりました。しかしそのような状況になったからこそ、オンラインという新しい形での高専祭が開催できたと思います。毎年模擬店を出していた部活が今年はそれぞれの特色を生かした出展を行っているなど、例年では見られなかった光景も生まれました。また今までは学校の中だけで行われていた高専祭をオンラインにしたことで、今まで遠方にお住まいで高専祭に来たことがないなど、高専祭をあまり知らなかったという方々にも高専祭を知っていただく機会になったのではと思います。このような時期だからこそ得られた物も確かにあるのだと、今回の高専祭を通して感じることができました。

今までの社会を取り戻す、ではなく、新たな社会を作り出す。本高専祭がそのような視点の一助になれば幸いです。



クラブ・同好会紹介 vol.23

体育部	文化部	同好会	
アーチェリー 合気道 弓道 剣道 硬式テニス 硬式野球 サッカー 柔道 少林寺拳法 水泳	ソフトテニス 卓球 バスケットボール バドミントン ハンドボール バレーボール ラグビーフットボール 陸上競技	からくり 機械研究会 軽音楽 茶道 システム開発研究会 将棋 情報処理研究会 吹奏楽 美術 放送	化学同好会 合唱同好会 クイズ研究会 現代視覚文化研究会 手芸同好会 生協学生同好会 数学同好会 電気技術研究会



少林寺拳法部

機械工学科1年 溝上 そら

合掌

こんにちは、少林寺拳法部です。少林寺拳法は香川県発祥の護身術です。突きや蹴りなどの打撃を用いる剛法、相手に掴まれた際に倒したり投げたりして対処する柔法、人体の急所を使って身体を整える整法で構成されています。てこの原理を使ったり、急所を効果的に責めたりすることで、自分よりも力の強い相手に対してでも自分の身を守るようになります。

私たちは基本的に週に2回、水曜日と土曜日活動しています。その人に合った柔軟な対応ができるところがこの部活の魅力で、兼部をしている人、週1回だけ通っている人など様々です。初心者も多く、アットホームな雰囲気の中で楽しく練習を行っています。興味がある方はぜひ見学に来てみてください。

結手



茶道部

物質化学工学科3年 尼崎 千裕

私たち茶道部は、毎週月曜日の放課後に裏千家の茶道教授の方と活動をしています。毎年夏には卒業生を招待して「清風茶会」を、秋の高専祭では一般の方も多く来られる「紅葉茶会」を行っています。これを奈良県大芸術祭の作品として出展しています。

1年生はお茶の飲み方や運び方などの基礎を学び、2年生からは季節に合わせた本格的な点前を練習しています。様々な点前や作法を学ぶうちに礼儀作法が身につく自分のためになるほか、普段の授業では触れることのできない日本の伝統文化に触れることができます。毎週お抹茶と美味しいお菓子を楽しみながら、仲良く和気あいあいと活動しています！





学生会から「新役員紹介」

会長 佐藤 優輔(機械工学科3年)

昨年度の副会長に続き、会長を務めさせていただきます。昨今の影響により、例年とは違った対応が学生会にも問われる中、精一杯の活動を行っていきたくと考えておりますので、よろしくお祈りします。

書記 田中 陽一朗(情報工学科2年)

去年に引き続いて書記に就任させていただきました、2年情報工学科の田中陽一朗です。書記の仕事をしっかりとして引き継ぎ、次代へとつなげていけるよう頑張ります。

会計 杉山 咲(情報工学科2年)

昨年度に引き続き、会計に就任いたしました、杉山です。例年とは異なる状況下ではありますが、経験を活かし、責務を全うする所存です。よろしくお祈りします。

副会長 菊田 一真(情報工学科4年)

—昨年度の副会長、昨年度の会長に続き、副会長を務めさせていただきます、情報工学科4年の菊田一真です。会長を始めとした後輩たちの補佐に努めてまいります。

書記 竹田 岳人(情報工学科2年)

この度、書記に任命されました、2年情報工学科の竹田岳人です。自分に与えられた職務を全うし、書記に選ばれたということに対して応えられるように頑張りたいです。

会計 池口 聖直(電気工学科2年)

この度会計に就任しました、池口です。初の会計ですが、学生会を支えられるように頑張っていきたいと思っています。よろしくお祈りいたします。

副会長 阪本 靖大(電子制御工学科2年)

この度、副会長に任命されました、2年電子制御工学科の阪本靖大です。副会長としての責任と自覚を持ち、責務を全うしていきたいです。よろしくお祈りします。



令和2年度学生表彰者

優秀賞……在学5年間に於いて、学業成績が優秀で、人物が優れている者に贈られます。

皆勤賞……在学期間中、欠席、欠課がなかった学生に与えられます。ただし、同一科目における遅刻、早退は3回で欠課1時間とみなされます。

特別賞イ……在学期間中、全国高専大会に3回以上出場した者並びに課外活動等において特別な功績があった者に贈られます。

特別賞ロ……全国大会又はこれに準ずる大会において、優勝又は準優勝した個人又は団体に贈られます。

特別賞ハ……ロに準ずる催し物において、それらと同等と認められる成績を挙げた個人又は団体に贈られます。

特別賞ニ……学校内外において特別な善行、学生の模範として推奨できる行為又は功労等のあった個人又は団体に贈られます。

専攻科研究優秀賞……専攻科在学期間中、論文等の特に優れた学術研究活動が認められた者に贈られます。

優秀賞(10名)

機械工学科5年 大林 彩乃、眞方 大凱
電気工学科5年 上垣 柊季、増本 千裕
電子制御工学科5年 愛洲 達也、中川 龍生
情報工学科5年 上野 達也、太田 永遠
物質化学工学科5年 福田 凌大、森田 慎平

皆勤賞(21名)

機械工学科5年 寺下 宗孝、坊村 竜、眞方 大凱
電気工学科5年 永澤慎太郎、吉村 勇人、米田 琢人
電子制御工学科5年 飯田佳那絵、竹村 琳、中川 龍生、松本 暖樹
情報工学科5年 尾山 心一、柴田 海翔、西田 真優、毛利 想一
物質化学工学科5年 安藤 うた、岩田 和、岩谷 柁二、高岸 佑紀、田中 駿平、出井将太郎、渡邊 樹



特別賞イ(17名)

機械工学科5年 玉井 優策 全国高等専門学校体育大会 水泳競技 第52・53・54回 出場
眞方 大凱 全国高等専門学校体育大会 水泳競技 第51・52・53・54回 出場
板垣 壮流 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第47回 準優勝、第48回 第3位、第49・50・51回 優勝
黒川 祥 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第47回 準優勝、第48回 第3位、第49・50・51回 優勝
電気工学科5年 吉村 勇人 全国高等専門学校弓道大会 第4回 準優勝・射道優秀賞、第5回 第3位・射道優秀賞、第6回 出場
米田 琢人 全国高等専門学校弓道大会 第4回 準優勝・射道優秀賞、第5回 第3位、第6回 出場
南 麟太郎 全国高等専門学校体育大会 水泳競技 第51・52・53・54回 出場
小泉 太護 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第47回 準優勝、第48回 第3位、第49・50・51回 優勝
向井 康浩 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第47回 準優勝、第48回 第3位、第49・50・51回 優勝
吉田 永遠 学生会活動 功労(会長1期、副会長1期)
電子制御工学科5年 新谷 大輝 全国高等専門学校将棋大会 第23・24・25回 出場
宮原 康輔 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト 2016・2019 ロボコン大賞、2017 技術賞
情報工学科5年 竹尾 匡貴 全国高等専門学校体育大会 水泳競技 第52・53・54回 出場
村本幸次郎 全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 第47回 準優勝、第48回 第3位、第49・50・51回 優勝
小川万里奈 全国高等専門学校体育大会 陸上競技 第50・51・52回 出場
物質化学工学科5年 柴田 紘希 全国高等専門学校将棋大会 第24回 優勝、第25回 第3位、第23・26回 出場
中辻 賢人 全国高等専門学校体育大会 水泳競技 第52・53・54回 出場

特別賞ロ(30名)

第41回全国高等専門学校通信弓道大会女子個人戦・団体戦 優勝(1名)
物質化学工学科2年 山田 怜奈
第41回全国高等専門学校通信弓道大会女子団体戦 優勝(2名)
電子制御工学科4年 岡本 真歩
電気工学科2年 福王 彩音
第51回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 優勝(23名)
機械工学科5年 板垣 壮流、黒川 祥
電気工学科5年 小泉 太護、向井 康浩
情報工学科5年 村本幸次郎
機械工学科4年 勝真 大空
電気工学科4年 大床 星滋、西園 直輝、藤田 昌希
電子制御工学科4年 志富田大葵
物質化学工学科4年 甲元 蓮羽、島津 雄斗、藤田 勝也
機械工学科3年 市原 爽、大串 蓮
電気工学科3年 川東 拓真
電気工学科2年 甲元 陸羽
電子制御工学科2年 浅草 颯矢
機械工学科1年 江口 開、喜多 拳世、野田 和成
電子制御工学科1年 中村 大陽
物質化学工学科1年 山本 莉久

特別賞ハ(2名)

日本設計学会 2021年設計工学会誌 表紙デザインコンテスト 最優秀賞(1名)
システム創成工学専攻機械制御システムコース1年 森川 建太
日本設計学会 2021年設計工学会誌 表紙デザインコンテスト 優秀賞(1名)
機械工学科5年 大島 菜摘

特別賞ニ(2名)

令和2年12月11日 人命救助(1名)
電子制御工学科4年 平岡 大樹
令和2年12月10日 人命救助(1名)
システム創成工学専攻機械制御システムコース1年 辻 知樹

専攻科研究優秀賞(4名)

システム創成工学専攻機械制御システムコース2年 宮奥 晃希、木俣 雄太
システム創成工学専攻電気電子システムコース2年 馬野 叶悟
システム創成工学専攻情報システムコース2年 杉野森拓馬
物質創成工学専攻2年 森下華寿美

KOSENセキュリティコンテスト2020 優勝(4名)
情報工学科4年 比嘉 隆貴
システム創成工学専攻情報システムコース2年 森田 悟大
システム創成工学専攻情報システムコース2年 北村 圭輝
システム創成工学専攻情報システムコース2年 永富 雄貴



令和2年度 英語学習表彰者

英語学習表彰制度

本校学生の英語力向上を図るため、TOEICスコアの優秀者と英語検定合格者を表彰する制度です。令和2年度は計20名の学生が、次の基準によって表彰を受けました。

英語学習優秀賞……本科生・専攻科生のうちTOEICスコア735点以上または英検準1級以上に合格した者

英語学習奨励賞……本科生・専攻科生のうちTOEICスコア605点以上または英検2級に合格した者

英語学習優秀賞(4名)

情報工学科1年 吉田 彩人
電子制御工学科5年 山本 拓実
物質化学工学科5年 森田 慎平
システム創成工学専攻電気電子システムコース1年 吉田 龍生

英語学習奨励賞(16名)

情報工学科2年 岸本千波矢
情報工学科2年 杉山 咲
情報工学科3年 島 千晴
電気工学科4年 樹下倭奈乃
物質化学工学科4年 古賀 健太
物質化学工学科4年 能城 地洋
物質化学工学科4年 本條 悟史
機械工学科5年 坂元 秀平
機械工学科5年 寺下 宗孝
電気工学科5年 江口 輝生
物質化学工学科5年 勝本 照平
物質化学工学科5年 西口 直輝
物質化学工学科5年 福田 凌大
システム創成工学専攻電気電子システムコース1年 若林 駿
システム創成工学専攻電気電子システムコース2年 馬野 叶悟
物質創成工学専攻2年 小出 ゆり



近畿地区高専英語プレゼンテーションコンテスト参加報告

～ネット社会擁護者賞&国際人賞受賞～

物質化学工学科3年 プスパデウィ
情報工学科1年 吉田 彩人

一般教科 朴 槿英

2020年9月上旬に、近畿地区高専英語プレコンの出場者公募があり、3年生のプスパデウィ、1年生の吉田彩人が選ばれました。二人とも英語プレゼンテーションが初めてであったため、練習始めから11月の大会日までずっと緊張の中で練習を重ねました。プスパデウィは、現代社会で誰もが使うインターネットの裏表についての考えを流暢に語る事ができました。匿名で存在することができる世界なので、目に見える社会より残酷な人が多く、表の仲間が裏で敵になる現象の深刻性について熱い思いを述べました。吉田彩人は、BLM(Black Lives Matter)など多様性を認め合おうという風潮が強まりつつあるグローバル社会で、実際に起きている社会問題を取り上げました。ヨーロッパの国々で「多様性」という正義のもと、暴徒化している社会問題について語りました。審査委員による質疑応答は一人5分ほどで、生の英語質問に沿って答えることはハードルが高いと思いましたが、とても良い経験となりました。

2020年11月14日に、第14回近畿地区高専英語プレゼンテーションコンテストがオンラインで開催されました。本校からは物質化学工学科3年プスパデウィさんと情報工学科1年吉田彩人君が出場しました。プスパデウィさんはInternet: Utopia and Dystopia (インターネット：理想郷と暗黒郷)というタイトルの下、利便性と危険性が共存する裏表のあるインターネット世界の本質を流暢な英語でプレゼンしました。サイバーブリングの深刻性が客観的に説明され、Internet Society Defender Award (ネット社会擁護者賞)を受賞しました。吉田彩人さんはDiversity: Should It Usually Be Taken as Absolutely Justice? (多様性：それは通常、絶対的な正義と見なされるべきか?)というタイトルで、多くの難民や移民者を受け入れた国々で、暴力や暴動が起きている社会現象に対する危機感を経験に基づいて論理的に語り、Internationally-minded Award (国際人賞)の受賞を果たしました。優秀な二人の指導に関ったことを誇りに思い、これから益々、グローバル人材としての知見を深めていきますようお願いしております。



グローバル教育センターから

アジアニュースフォーラム2020(ウェビナー)参加報告

機械工学科2年 上林 優生
情報工学科2年 (AYF学生リーダー) 岸本千波矢
情報工学科2年 後藤 月望
情報工学科2年 杉山 咲
物質化学工学科2年 畑 真央

インドネシアSMA Al-Azhar Mandiri Palu校の主管で、2020年8月から11月に亘り、アジアニュースフォーラム(AYF)2020がオンラインで開かれました。日本、インドネシア、韓国、台湾、ベトナムから選抜された学生代表40名がウェビナーに参加し、オンライン国際交流活動を通じて、友情を深めることができました。今年のテーマは「COVID-19が各国に与えた影響」と、「持続可能な未来社会のために何をすべきか」でした。オープニングセレモニーとアイスブレイキング、それから約3ヵ月間のグループ・ディスカッション期間を設けて、学校紹介、文化プレゼンテーション、多国籍グループ・プレゼンテーションを行いました。英語が堪能な学生達と共に



ディスカッションすることは難しかったですが、英語コミュニケーション学習の必要性を肌で感じることができました。後輩達にもAYF参加をぜひお勧めしたいです。

グローバル工学協働教育プログラム(GECEP)について

GECEP担当教員 朴 槿英

奈良高専では、グローバルエンジニアの育成を目指し、国際文化交流事業、実践的英語コミュニケーション教育の充実、海外派遣・受入を中心とするグローバル工学協働教育プログラムを実施しています。今年度はパンデミックの中で多くの活動に制約が掛かりましたが、シンガポールのナンヤン・ポリテクニク、リパブリック・ポリテクニク、香港專業教育學院、台湾のAYFメンバー校とのオンライン国際交流を積極的に実施しました。そして、アドバンストグローバルコミュニケーション、グローバルエンジニアスキル、グローバルチャレンジなどのGECEP科目をオールイングリッシュで実施し、英語コミュニケーションスキルを磨くことができました。さらに、東北大学大学院のプシュパラル・ディニル先生、奈良県知事公室国際課の国際交流員クランシー・ケイティー先生による特別講演会も大好評で、異文化に対する幅広い知見を深める貴重な機会となりました。



カウンセラーだより

コロナ禍の ストレスとつきあう

カウンセラー
(臨床心理士)
弓場 文代



昨年度から生活の様々な面で新型コロナウイルスの影響を受けることが続いていますね。このことを受けて、心身は、常にストレスがかかった状態を強いられています。

ストレスがかかった状態が続くと、身体には体調を崩しやすくなる、眠りが浅くなるなどの様子が出てくる場合があります。心には、なんとなく不安が高まる、イライラしやすくなるなどの様子が見られることがあります。また、日々の活動では、ぼーっとしてしまうことが増える、物事に興味が持てなくなるなどの様子が現れることがあります。

知っていただきたいことは、これらの通常とは違う様子がストレスに向き合おうとする心身の正常な反応だということです。心身の様子の変化に受け入れがたいお気持ちがされる方もおられるかもしれませんが、ご自身

について否定的に考えてしまうことそのものもストレスを高めますので、常と違う様子があるご自身を責めることは極力控えていただきたいと思います。

ただし、ご自身を責めないようにすることがなかなか難しいこともあります。心身にストレスがかかっている状態では、ご自身を責めたり、否定する気持ちがよぎったりすることがあっても不思議ではありません。そうした時は、ご自分を責めることや否定する感情を抑えたり、変えようとしたりせずに、今はこういう気持ちになっているんだな、とだけ思って過ごしてください。そうすることで、ご自分を責めることや否定する感情へ注目することが少なくなり、気持ちを穏やかに保つことができます。本来、様々な感情の動きそのものには良いも悪いもないとされています。様々な感情をどうにかしようとするのではなく、そのまま流していただくというやり方を取り入れていただければと思います。

カウンセリングでは、ご自身のストレスや感情を整理し、どう向き合うかを共に考えることも行います。新型コロナウイルスと共に生活していく現在の状況にしんどさを感じられる場合は、カウンセリングの利用なども視野に入れてみてください。

ソーシャルワーカーだより

一緒に考えて みませんか?

ソーシャルワーカー
(社会福祉士・公認心理師)
佐々木 理恵



みなさん、はじめまして。今年度5月より毎週月曜日に相談を担当させていただいていますスクールソーシャルワーカーの佐々木です。よろしくお願ひ致します。

日々の生活で困っている事はありませんか?「課題が進まない」「忘れ物をよくする」「一度にたくさんの事を聞くとわからなくなる」などなど…。困っている事がある時は、一度、一緒に考えてみませんか?「どこに困っているのかな?」「どこか工夫できる所はないかな?」「何かお手伝いできる所はないかな?」と一緒に考える事で、一人で考えているとなかなか見つからなかった方法を見つ

けるヒントが見つかるかもしれません。すぐに見つからなかったとしても、困っている事が整理できて、客観的に見る事ができるようになると、自分の得意な所や苦手な所が理解でき、得意な所で、苦手な所をカバーしていくという方法が見つけられると思います。

困っている事を整理し、客観的に見て、工夫をする。また、必要な支援がある時は支援を受けながら、今までより少し生活がしやすくなり、困り感が軽減され、できる事が少し増える。そんな風に一緒に考えていけたらと思っています。

一緒に考えていく上で一番大切な事は、みなさんの気持ちや考えている事を丁寧に聞かせていただく事です。考えている事や感じている事は一人一人違うので、丁寧に聞かせていただく事で理解が深まり、みなさんにとって、今、必要な事が見つけられると思います。

まずは、みなさんのお話を聞かせてください。お待ちしております。



3連覇! 全国高専ラグビーフットボール大会

電気工学科5年 小泉 太護

ラグビー部は、令和3年1月4日から開催された全国高専大会で3年連続の優勝を掴むことが出来ました。自粛期間で、一人ひとりが自分でトレーニングを行うといった辛い日々を乗り越えた後、全体としての練習が再開できたのは8月からでした。そこから少ない練習試合や限られた練習を重ねて、1日1日の練習の密度を高め、一人ひとりが出来ることを考えて最大限に努力してきました。その結果、全国優勝、そして3連覇という有終の美を飾れたことを本当に嬉しく思います。全国大会中でも、怪我人が続出したり、警報発令で日程が1日延びたりと厳しい状況が続きましたが、限界以上の力を出してくれた部員全員の力を合わせて優勝できました。やりきってくれた部員達には感謝してもしきれないほどです。

そして、5年生が引退して、新チームがスタートしています。次の1年間も苦しい状況になるでしょうが、その逆境を乗り越え、4連覇に向けて日々練習に励み、新たに奈良高専の歴史を創ってくれることに期待しています。

今年度はコロナ禍のため、新型コロナウイルス感染症対策をとることで、競技開催にご尽力いただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

ラグビーができるこの環境を当たり前と思わず、また顧問の先生方や家族を始めとする周りの方々のご理解とご支援に常に感謝して、これからの練習にも励んでいきたいと思えます。今後も応援のほどよろしくお願い致します。



卒業記念品の寄贈

令和2年度卒業生の皆さんから卒業記念品として「ワンタッチクイックテント」を2セット寄贈していただきました。卒業生の皆さん、どうもありがとうございました。



行事予定 (4月～9月)

- ◆ 4月 1日(木) 春季休業(4日(日)まで)
- ◆ 4月 5日(月) 入学式、入寮式、専攻科新入生オリエンテーション
- ◆ 4月 6日(火) 開寮・寮生集会、新入生オリエンテーション(学生部門)、専攻科春季学外研修(専1年)
- ◆ 4月 7日(水) 全校集会、健康診断、教科書購入、新入寮生歓迎会、専攻科2年ガイダンス、新入生オリエンテーション(教務・グローバル・しなやか)
- ◆ 4月 8日(木) 前期授業開始(本科・専攻科)
- ◆ 4月18日(日) 開校記念日
- ◆ 4月22日(木) 交通安全教室(2年)、春季リーグズ研修会、学生会評議会
- ◆ 4月28日(水) 閉寮
- ◆ 4月30日(金) 開校記念日の振替休日
- ◆ 5月 5日(水) 開寮・寮生集会
- ◆ 5月 6日(木) 社会人教育セミナー(4年)
- ◆ 5月13日(木) 学生会総会
- ◆ 5月15日(土) 学寮スポーツ大会、学寮避難訓練
- ◆ 5月20日(木) 健康診断(歯科検診)、人権合同特活(2年)、専攻科入学試験(推薦)
- ◆ 5月27日(木) 春季スポーツ大会
- ◆ 5月30日(日) 編入学試験
- ◆ 6月 4日(金) 補講(本科)
- ◆ 6月 7日(月) 前期中間試験(本科:11日(金)まで)
- ◆ 6月11日(金) 安全対策講習会(熱中症)
- ◆ 6月12日(土) 専攻科入学試験(学力)
- ◆ 6月17日(木) 人権合同特活(1年)
- ◆ 6月26日(土) 近畿地区高専体育大会(硬式野球:27日(日)まで)、寮寮
- ◆ 7月 1日(木) 卒業生と語る会(3年)
- ◆ 7月 3日(土) 近畿地区高専体育大会(バスケットボール・バレーボール・柔道・テニス:4日(日)まで、サッカー:5日(月)まで)
- ◆ 7月 5日(月) 公開授業(9日(金)まで)
- ◆ 7月10日(土) 近畿地区高専体育大会(陸上競技、ハンドボール・バドミントン:11日(日)まで)、寮生保護者懇談会(1年)
- ◆ 7月15日(木) インターンシップ事前指導・特別講演会(4年・専攻科)
- ◆ 7月19日(月) 金曜振替授業
- ◆ 7月27日(火) 木曜振替授業
- ◆ 7月28日(水) 補講(本科)
- ◆ 7月29日(木) 前期末試験(本科:8月4日(水)まで)
- ◆ 8月 4日(水) 全校集会、専攻科前期授業終了
- ◆ 8月 5日(木) 補講・試験予備日(本科)、専攻科夏季休業(10月1日(水)まで)
- ◆ 8月 6日(金) 補講(本科)、閉寮
- ◆ 8月 7日(土) 本科夏季休業(9月26日(日)まで)
- ◆ 8月20日(金) 体験入学(24日(火)まで)
- ◆ 9月16日(木) 専攻科前期末成績確認期間(17日(金)まで)
- ◆ 9月26日(日) 開寮・寮生集会
- ◆ 9月27日(月) 前期授業再開(本科)、全校集会

編集後記

広報誌CAMPUSは年2回の発行ですが、2020年秋号はコロナ禍で多くの学生活動が中止となったため掲載記事が少なく、やむなく休刊とさせていただきます。コロナ禍の経験として、遠隔授業でも知識を教授できることがわかりましたし、グループワーク等のチーム学習も一部は実施できました。高専祭のオンライン実施では、動画を使った新たな表現方法も生まれました。しかしながら、対面で得られる表情や所作、友達との雑談等から得られる刺激(情報量)は圧倒的です。この感染症が収束し、学校の役割を十二分に果たせる環境が整うことを願います。

奈良高専広報センター